

## ベストをつくし 乗り越えようと がんばる子

校長 石井雅代

後期がはじまり約1ヵ月が経ちました。陸上大会(6年生)をはじめ、2年生(葛西臨海水族園)や3年生(千葉市内の郷土博物館・ポートタワー・千葉港めぐり観光船)の校外学習も予定通りに実施でき、秋晴れのさわやかな空の下、満足そうな子供たちの笑顔がたくさん見られ嬉しく思いました。

陸上大会では、今年度から始業前の朝練習でなく放課後の練習に変更いたしました。6年生の多くの児童が練習に参加し、地域の方や千葉西高校の陸上部の皆さんにも練習に参加して教えていただきながら、目標をもって記録更新を目指しました。より速く、より高く、より遠くへと、ベストをつくし自分自身の限界を超えようと挑戦する気持ちを高め、かけがえない経験ができたのではないかと思います。その姿は、たくましく美しい姿であり、本校の目指す児童像、そのものを具現化してくれていました。選手に選ばれた児童も選ばれなかった児童も「達成感」や「悔しさ」を持てたことと思います。ここから、新たな目標をもち、向上心を持って進むことで、次の新しい景色が見えることと思います。それを、ぜひ、自分の目でしっかりと見てほしいと思います。陸上大会壮行会では、5年生を中心に下級生の素晴らしい声援や拍手によって全校がひとつになって応援しました。その素晴らしい6年生の姿は、下級生の目標になったことと思います。保護者の皆様におかれましては、健康面や精神面を支えていただきありがとうございます。



陸上大会壮行会の様子

2年生の葛西臨海水族園では、子供たちが、夢中になってマグロやペンギンなどの生き物の様子を観察しており、「体が光に当たると銀色だ。」「えさを食べるのが上手だな。」などの声が聞こえてきました。本物を見て多くを学べる機会は大切です。子供たちは、同じ班の友達とはぐれないように気を付けて見学しており成長を感じました。3年生もとても充実した学びができたようです。保護者の皆様には、当日までの準備やお弁当など、ご協力いただきありがとうございました。



2年生 葛西臨海水族園でペンギンを観察している様子

また、10月にCAP(Child Assault Prevention(子供への暴力防止))の保護者向けプログラムを行いました。約30名の保護者の皆さんが参加を希望され、2時間をかけて、「子供自身がさまざまな暴力から自分を守る」ための人権プログラムを体験しました。具体的な対処法も学び、誰もが「安心、自信、自由」の権利を持っており、それを守るために「生きる力」を引き出そうとするプログラムを通して、人権意識を高めていただくことができました。保護者の皆さんからは、「暴力にあったとき、①いやだという②その場から逃げる③信頼できる人に相談する。の3つの選択肢があることがわかった。」や「相談と告げ口の違いを教えたい。」「大変勉強になった。他の人にもたくさん知ってほしい。」などの感想が寄せられました。11月には、3年生の児童がCAPプログラムを実施します。8月には、教職員全員がこのCAPプログラムを受けています。



CAPプログラム(保護者)の様子

子供たちの「安心自信自由」が守られ充実した教育活動ができるよう、今月も職員一同、精一杯頑張りますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

